

市川市史 自然編 一都市化と生きもの一

目 次

刊行にあたって

まえがき

凡 例

市川市域図

第1章 市川市の地形と気象	1
第1節 地形の概要	2
第2節 気象の様子	12
第3節 水の動き—湧水から川へ—	22
第4節 東日本大震災の水辺への影響	31
第2章 市域の自然の姿とその変遷	37
第1節 むかしの植生を推測する—縄文・弥生時代～近世—	38
第2節 低地に水田が広がっていた時代—明治・大正～昭和前半—	45
第3節 都市化が進んだ時代—昭和後半～平成—	54
第3章 都市に暮らす生きもの	61
第1節 都市化と都市生物の登場	62
第2節 人と共存するツバメ	71
第3節 都市鳥の暮らし—鳥から見た都市環境—	89
1. 都市鳥の出現	89
2. 市内に生息する2種類のカラス	89
3. 人家周辺で暮らすスズメ	93
4. 都市に進出したヒヨドリ	99
5. ムクドリの集団ねぐら	104
第4節 街なかのヒキガエル—ヒキガエルが暮らせる街とは—	110
〔コラム1〕ヒキガエルの冬眠場所と目覚めの時期	118
第5節 戻ってきたタヌキ、進出するハクビシン	120
第6節 市川の帰化植物—研究の流れと現状—	129
〔コラム2〕帰化植物と外来植物	138
第7節 市川の外来動物	139
第8節 身近に暮らすさまざまな動物	145
1. 身近に暮らす哺乳類—コウモリ、モグラ、ネズミほか—	145
2. 住宅とその庭に棲む爬虫類と両生類	148
3. 身近な昆虫など	152
4. 環境の指標となるクモ	164

第4章 残された自然と保全の取り組み	171
第1節 残された市川の林	172
1. 市川市内の樹林のあらまし	173
2. 緑を守る取り組み	192
〔コラム3〕 鳥による種子散布	194
第2節 市川のクロマツ——街なかの黒松群——	196
第3節 谷津の保全	205
〔コラム4〕 絶滅危惧種イノカシラフラスコモの保護保全	218
第4節 真間川水系をめぐる取り組み	220
1. 真間川水系の治水と水辺の保全	220
2. 真間川水系の鳥	227
3. 調節池緑地のモズのはやにえ	230
第5節 江戸川——山と海をつなぐ——	235
1. 市川にとっての江戸川	235
2. アユが遡上する江戸川	239
3. 大河川・江戸川を利用するトンボ	242
4. フジバカマとノカラマツ	249
5. 河川敷や水辺が育む生きもの	252
第6節 市川の花——埋め立てのはざままで——	262
1. 花の環境と底生動物	262
2. 江戸川放水路の干潟とトビハゼ	270
3. 花の野鳥	279
4. 海浜性の昆虫と植物	283
第7節 行徳野鳥観察舎の歩み	294
第5章 市川市の動植物	311
第1節 植物の種類相	312
第2節 動物の種類相	320
第3節 市川市を模式産地とする動物	330
第4節 市川市の動植物目録	334
索引	339

執筆分担

執筆者一覧

協力者・協力機関

市史編さん事業関係者

あとがき